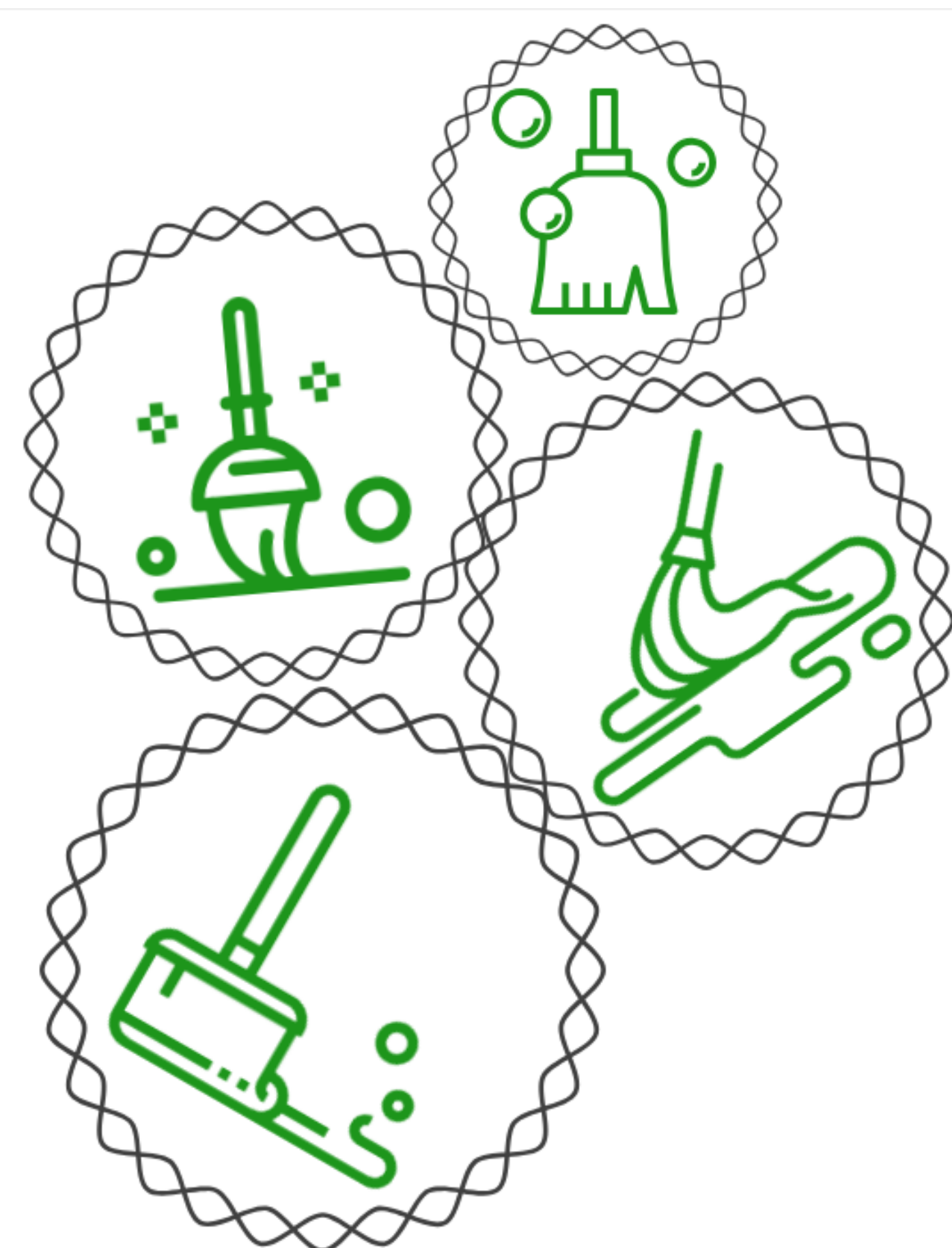




MIRS1903

もっぴー プロジェクト

PM	小池りほ	長井是親
TL	高久直也	馬場賢太
DM	芹澤正太郎	富金原匠
	岩崎竜星	村松岳志
	高田晃佑	

名前の由来

今回のMIRSではモップを使用する予定なのでモップから着想を得て
モップ→もっぴーとなった。

“体育館のメンテナンスロボット”

なぜ体育館でロボット？

- ・バトミントンのシャトルや箱、ボールが落ちていることがある。
- ・体育館のテープが剥がれている部分があり、事故が起きる可能性がある。
- ・ぱっと見た時に床の凹凸が判別できないためどこが危険なのか分からない。



体育館の メンテナンスロボットの製作



体育館の実態

- ・床面には傷が多く、事故が起こりうる環境になっていることが確認された。
- ・隅には不規則な形のネットや忘れ物等があり、ゴミと区別する必要があることが確認できた。

体育館で起きる危険なこと

- ・体育館の床板のはがれによる事故は実際に起きている。
- ・高専の体育館では、ネジやボルトが落ちていることがあり、ケガをする可能性がある。

実際に起きた事故：(消費者庁調べ)

- ・床板のはがれによる事故：7件(15年間)
(うち内臓損傷事故2件)
- ・改修工事から最短2年で事故発生



もっぴーのここが凄い！

1. ルート通りにモップをかける
2. 障害物を避ける
3. 終了後、所定の位置に戻る

4. テープ貼りを行う
5. 床の凹凸を判別する
6. 落し物とゴミの区別

